

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むくむくの森（森のかぜ）		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動と小集団活動のプログラムがある。	個々の様子を職員間で共有しながらその子に合わせたプログラムを立てたり、小集団活動ではグループに合わせた取り組みができるよう配慮している。 また、音楽療法や課外活動、クッキング等、活動内容が充実している。	より専門的に支援できるよう研修を受けたり、職員間で情報共有を行い、全員が同じ意識を持って支援にあたるようにしていく。
2	保護者との情報共有のツールが充実している。	療育中の様子などを文章のみでなく写真が掲載できるようになっていることでより分かりやすく支援内容を伝えることができている。保護者からの連絡、相談等が時間を問わず入れられるようになっているため、仕事をしている保護者ともやり取りがしやすい。	HUGシステム以外の情報提供が少ないので、定期的にお便りなど配布できると良い。
3	放課後等デイサービスが併設されている。	行事等を合同で開催し、小学生との交流や年長児を中心に放デイの活動体験を行っている。 移行した際は情報提供がしやすく継続支援ができる。	現在、定員に達しているため移行が難しくなっているが、空きが出た際には優先的に受け入れてもらえるよう調整を図っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に向けたイベントが開催されていない。	日々のプログラムを考えることが中心となり、家族参加のプログラムまで話し合いが持っていない。開催日時や職員配置等も大きな要因。	開催日や内容の決定、それに伴い職員が配置できるかなど、他施設の助けも借りながら検討していく。
2	午後の送迎ができない。	放課後等デイサービスが同じ時間帯に送迎車を使用していたり、職員の確保が難しいため。	ドライバー、送迎車、駐車場の確保などができるのか検討していく必要がある。
3	他事業所との交流があまりない。	保育園や幼稚園との情報共有はできているが、併用している児童発達施設との関わりは少ない。	お互いに施設見学や電話での情報共有をしていけるとよい。